

第63回建築士会全国大会
「広島大会」記念特別号

MONTHLY 建築士
No.167

HIROSHIMA

公益社団法人
広島県建築士会

MONTHLY 建築士 HIROSHIMA No.167 令和3年11月1日発行

発行 公益社団法人 広島県建築士会 〒730-0052 広島市中区千田町3丁目7番47号
TEL(082)244-6830(代) FAX(082)244-3840 URL <https://www.k-hiroshima.or.jp/>
e-mail:info@k-hiroshima.or.jp

発行人 会 長 井本 健一
編集人 広報委員長 神岡 千春

広島県の魅どころ掲載 県内7支部からのご紹介!

表紙写真について

田辺三菱製薬株式会社小野田研究棟(CIL)

- 設計・施工 / 株式会社竹中工務店
- 所在地 / 山口県山陽小野田市
- 用途 / 研究所
- 構造規模 / S・6F
- 敷地面積 / 275,652.96㎡
- 建築面積 / 2,062.23㎡
- 延床面積 / 9,883.53㎡
- 竣工 / 2021年5月

製薬の生産・研究機能の連携強化を図り、新薬供給体制の整備・効率化を目的とし建設した研究所です。新たなイノベーションを生み出し続け、独自の価値を生み出しグローバルに発信するモノづくりの拠点として計画しました。外観は施設機能を明快にゾーニングした断面構成と、敷地周囲斜面の造成を最小限とする1・2階をセットバックさせた形態により、再編のシンボルとなる姿としました。内部は積層した3つの研究部門の機能をシームレスにつなぐ吹抜階段のある協創スペースを設け、コミュニケーションを促進し創造を誘発します。研究を支える安全な構造架構、様々な省エネ技術等を採用し、SDGsやBCPに対応したスマートウェルネスラボラトリーを実現しています。



CONTENTS

■ 表紙写真について	2	■ 福山支部 福山城 令和の大普請 ～2022年 築城400年に向けて～	11
■ CPD認定プログラム	3	■ 東広島支部 日本有数の酒どころ西条と安芸の小京都竹原を楽しもう	12
■ 第63回建築士全国大会「広島大会」のご案内	4	■ 県北支部 歴史ある様々な文化と豊かな自然の彩り	13
■ 公益社団法人 広島県建築士会 会長 ご挨拶	6	■ 呉地区支部 呉YWCAについて	14
■ 三原支部 瀬戸内海を借景して暮らす町 三原市須波	7	■ プロジェクトニュース 第30回全国女性建築士連絡協議会福岡大会が開催されました	16
■ 広島支部 広島特有の文化遺産や憩いの場所を巡ろう	8	■ 魅力ある建築物創造事業 コロナ禍での広島県の取組み	17
■ 尾道支部 文人墨客映画人に愛された尾道の老舗旅館に泊まろう	10		

CPD認定プログラム(11～12月広島県内実施分) 2021/10/4現在

【現地講習】

日時	プログラム名	単位	主催	連絡先
11/27	高圧ケーブル工事技能認定講習会【1日目】	5	日本電気協会 中国支部	082-243-4237
11/28	高圧ケーブル工事技能認定講習会【2日目】	4	日本電気協会 中国支部	082-243-4237
11/30	一級/二級/木造建築士定期講習(6D-C1)	6	広島県建築士会	082-244-6830
11/30	一級/二級/木造建築士定期講習(6D-C2)	6	広島県建築士会	082-244-6830
12/ 7	一級/二級/木造建築士定期講習(6D-D1)	6	広島県建築士会	082-244-6830
12/ 7	一級/二級/木造建築士定期講習(6D-D2)	6	広島県建築士会	082-244-6830
12/ 9	監理技術者講習	6	広島県建築士会	082-244-6830
12/11	令和3年度 広島県ヘリテージマネージャー養成講習会(8)	6	広島県建築士会	082-244-6830
12/14	2021年度 被災建築物応急危険度判定士講習会①	3	広島県建築士会	082-244-6830
12/14	2021年度 被災建築物応急危険度判定士講習会②	3	広島県建築士会	082-244-6830
12/17	コンクリート構造物の劣化と維持・補修に関する知識	6	インターウェーブ	099-812-0677
12/21	DVD講習「総合図作成ガイドライン」解説講習会	2	広島県建築士会	082-244-6830
12/22	一級/二級/木造建築士定期講習(6D-03)	6	広島県建築士会	082-244-6830

建築士のためのミニ知識

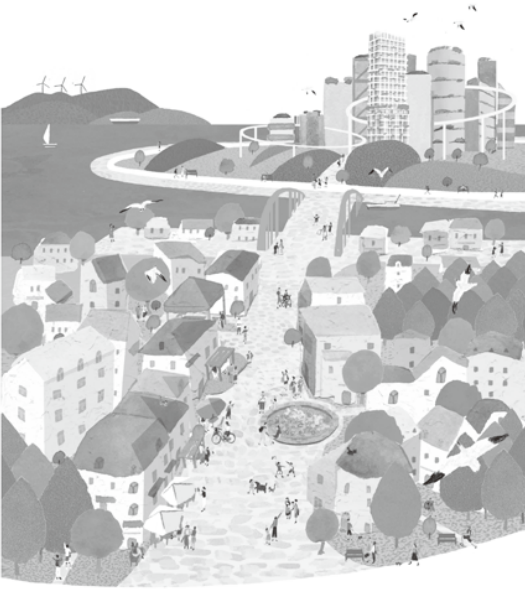
建築士の皆さん道路法第43条について ご存じでしょうか？

突然のミニ知識ですが、建築士として活躍されている会員の皆様も建築基準法や建築士法など建築に関する法律はよくご存じだと思いますが、道路法についてはあまり馴染みがないのではないかと思います。

今回、道路法第43条についてご紹介します。これは道路に関する禁止行為を謳ったものです。なぜこの条文を紹介するのかといいますと、敷地と道路にL型側溝等で15cmほどの段差があると外構工事で何の措置もしなければ施主様が引き渡し後に既製のスロープを道路に置くということが多々あります。これが道路法第43条に抵触し罰則規定もあります。道路管理者の許可を得てL型側溝を切り下げればいいわけですが費用がかかります。建築士として施主様が違法行為をしないよう、ひとこと提案してはいかがでしょうか。



竹中工務店は「最良の作品を世に渡し、社会に貢献する」という経営理念のもと、手がける建築の一つひとつを丹精込めてつくってきました。これからも人々が安全に安心して暮らすための「まちづくり」にグループの総力で貢献することによって、サステナブル社会を実現し、地球の未来につないでいきます。



想いをかたちに 未来へつなぐ
TAKENAKA

株式会社 竹中工務店 本社：〒541-0033 大阪市中央区東本町4-1-13 TEL:06-6252-1201 / 東京本店：〒136-0075 東京都江東区豊洲1-1-1 TEL:03-6810-0009

第63回建築士会全国大会「広島大会」のご案内

2021年度も半年が経過しました。新型コロナウイルス感染防止に留意しながら、後半に向けて少しずつ活動を初めています。11月19日(金)、20日(土) 第63回全国大会広島大会が、浜松町コンベンションホールにて開催されます。当日は一部の入場者を除き、各イベントを全国にWEB配信する初めての大会となります。

詳細は、右記の日本建築士会連合会のHPをご覧ください。▶ <https://www.kenchikushikai.or.jp/torikumi/zenkokutai/63th-hiroshima/index.html>

大会概要

大会テーマ	『元気じゃけん! ひろしま – 新しい時代へ ものがたりをつなごう』
参加方法	令和3年11月19日(金)～20日(土) WEB/LIVE配信 参加費無料 どなたでも視聴できます。見逃し配信:令和3年12月31日24時まで(予定)

大会スケジュール	浜松町コンベンションホール
19日(金)	第11回まちづくり賞発表会&公開選考会 ----- 12:00～15:00 全国HMネットワーク協議会総会 ----- 17:00～21:00
20日(土)	浜松町コンベンションホール 交流セッション ----- 10:00～12:00 ①青年委員会(地域実践活動発表会) ----- 10:00～12:00 ②景観・街中(空き家)まちづくり ----- 10:00～12:00 ③歴史まちづくり/第8回HM大会/広島会場より配信 ----- 10:00～12:00 ④木の建築 木のまちシンポジウム ----- 10:00～11:30 ⑤福祉のまちづくり ----- 10:00～12:00 ⑥環境部会 ----- 10:00～12:00 ⑦女性委員会 ----- 10:00～12:00 ⑧防災まちづくり ----- 10:00～12:00 ⑨情報部会 ----- 10:00～12:00 記念対談 解剖学者と建築探偵からの“遺言” 講師:養老 孟司氏 × 藤森 照信氏 ----- 13:30～15:00 大会式典 ----- 15:30～17:30

実行委員長挨拶

この度の全国大会「広島大会」につきましては、各地の皆様にご広島の地にお集まり頂き開催予定でしたが、広島に参集される皆様や大会スタッフ関係者等への新型コロナウイルス感染に係る懸念等から、広島での大会開催は断念せざるを得ない、と苦渋の決断をすることになりました。全国から広島で一堂に会し、研鑽・親睦を楽しみにしておられた方々には、深くお詫び申し上げます。東京に会場を移しての「広島大会」の開催につきましては、連合会事務局をはじめとして皆様方からのご協力を頂きました。心から感謝申し上げます。

コロナ禍での広島大会を振り返ると、昨年開催のところで、全国建築士会の皆様方のご理解を賜り、今年11月に延期させて頂きました。この延期を受け、広島士会としては全国アンケートを2回実施し、要望の多かった現地開催を主体としつつWeb参加も可能な大会となるよう方針決定しました。

しかし、今年8月中旬から9月末まで広島県内に緊急事態宣言が発出され、また全国的にもデルタ株が猛威を振るい、政府からは都道府県境を跨ぐ移動は行わないよう要請されました。さらに、ワクチン接種の遅延や変異種の出現等の情報もあり、8月時点では大会開催の11月にコロナ禍が好転するとは思えない厳しい状況となりました。

これまで広島士会では36回の実行委員会を開催し、北海道大会など過去の大会を参考に現地参加を主体で準備を進めてきた関係上、建築学会のように完全Web方式での大会開催については、残り3ヶ月という最終段階での根本的なやり替えになることから、メンバーのモチベーションが上がらず、ボランティア活動での対応は困難となった次第です。広島での開催に向け色々検討を加えてきましたが、ご理解頂きますよう宜しくお願い致します。

こうした状況下だからこそ、「元気じゃけん!ひろしま」のテーマに沿って、充実した議論あふれる大会となることを期待しています。また、会場は東京ではあるものの、「広島大会」らしさが醸し出せるよう広島県士会として努力してまいります。

広島大会では、神楽などのアトラクションや酒処広島の多数の地酒を用意した大交流会、魅力的なエクスカージョン7コースなどを準備しておりましたが、叶いませんでした。このため、広島各地の「魅力どころ」を、この広島県士会月刊紙「マンスリー建築士 Hiroshima」11月特別号に取りまとめ、県内7支部から紹介させて頂いています。

広島に來られた際には、この特別号を片手に自然・歴史・文化豊かな広島を楽しまれては如何でしょうか。

またの機会に、広島でお会できることを楽しみにしています。ありがとうございました。

なお、来年の第64回全国大会は、秋田県士会の皆様方のご努力により開催されます。秋田の地で、皆様方と直接お会いできれば幸いです。



第63回建築士会全国大会広島大会
実行委員長 佐名田 敬荘

アーティストのご紹介

広島大会PRビデオの挿入歌「春夏秋冬～感動の瞬間をあなたとともに～」を歌うアーティストの「Mebius」さんをご紹介します。

「春夏秋冬～感動の瞬間をあなたとともに」は、エースJTB「感動の瞬間100選」テーマソングとして、日本の美しさをテーマに書き下ろした楽曲で、BSフジ「ESPRIT JAPON」1～3月度番組主題歌として、フランス他で放送されました。

Mebiusプロフィール

広島県出身。岡田真実(Mami)、岡田賀江(Norie)による姉妹デュオ。2008年、ユニバーサルミュージックよりメジャーデビュー。JA共済、エースJTBなど、これまで20本を超えるCMソングなどを手がけ歌っている。

2010年、格式高いホールの一つ、ビルボードライブ東京にて行われた、GyaO!『キャンドルナイト・プレミアムライブ』に出演。
2014年(～現在)広島東洋カープ菊池涼介選手の登場曲に「#33」(シャープサンジュウサン)が起用され話題となる。
2017年、テレビ東京「THE カラオケ★バトル」では、妹賀江が高得点を出し優勝。
2018年7月、西日本を襲った豪雨により、二人の地元 熊野町でも沢山の犠牲者を出した。
この災害を忘れてはいけないという思いから、復興応援ソング「フレフレのうた」を広島の小学生と収録しリリース。収益金の一部を広島県に届けている。
また、今年度からはエールエールA館専門店街のイメージキャラクターに抜擢され、活動中。



左:Mamiさん 右:Norieさん

Mamiさん、Norieさん、それぞれの広島のお薦めスポットを紹介して頂きます。

Mamiさん

上幟町にある**広島流川教会**。礼拝堂の前にかかげられている黒焦げの「被爆十字架」。
1945年の被爆によってほぼ炭化した木材で作られ、平和を証し続ける大切な十字架としてかかげられています。
コンサート会場としての一般への貸し出しが許されており、Mebiusもワンマンライブをさせて頂いている場所。



正面が「被爆十字架」です



Norieさん

安芸郡熊野町にある**トモビオパーク!**
大自然の中に手作りのアスレチックや水遊び、バーベキューが出来るスペースも。
今年春には公園を見下ろせる場所に「さとの駅」がオープン!
おしゃれな建物の中には、地元のお野菜や輸入雑貨が置かれ、カフェもあるのでパパママも楽しめる場所です♪





広島県建築士会は7つの地域活動団体(支部)の会員により構成されています。ここでは各地域の持つ魅力の一端を各支部よりご紹介させていただきます。広島県は、北部は中国山地、南は瀬戸内海に面し、レジャーもスキーからマリンスポーツ、釣りまで多彩で、どの都市からも短時間でアクセスが可能です。又、プロスポーツも広島東洋カープ、J1のサンフレッチェ広島、バスケの広島ドラゴンフライズが県民の団結を盛り上げ、今年は女子サッカーのサンフレッチェ広島レジーナも誕生いたしました。今回はささやかですが紙面に広島をお楽しみいただき、やはり広島に行ってみたいと思っていただければ幸いです。

- ① 瀬戸内醸造所
- ② 広島市中心部
- ③ 尾道の老舗旅館
- ④ 福山城
- ⑤ 西条の酒造施設群
- ⑥ たけはら町並み保存地区

- ⑦ ヤマトロックマシン施設群
- ⑧ 帝釈峡
- ⑨ 奥田元宋・小由女美術館、三次ワイナリー、トレタみよし
- ⑩ もののけミュージアム
- ⑪ 神楽門前湯治村
- ⑫ 呉YWCA



三原支部

瀬戸内海を借景して暮らす町 三原市須波



麓の住宅街を自然に隠し、雑草をも雑生管理して細部にまでこだわって設計された空間。かつての造船所はこうして、風土、歴史から瀬戸内の恵み全てを巧みに借景し、ワインと食を通じて未来へ繋ぐ空間として生まれ変わった。

建築設計：菅原大輔 / SUGAWARADAISUKE 建築事務所
ランドスケープデザイン：石川洋一郎 / TREEFORTE

瀬戸内醸造所

setouchi winery

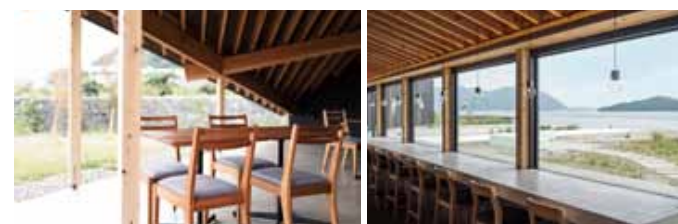
須波港のほど近く、造船所跡地に建つ「瀬戸内醸造所」。2階建てのワイナリーに、木造平屋のレストランとワイン直販所を併設した空間だ。ここで造られるワインは、新しさの奥に瀬戸内の風土と歴史を纏う。ワインを通して新たな文化を醸成するワイナリーの魅力を紐解いていこう。

代表取締役の太田祐也（おおた・ゆうや）氏は、「素晴らしい景色は沢山あるけれど、僕にとってはこちらが一番。幼い頃に祖父と見ていた瀬戸内の原風景なんです」と話す。太田氏が見てきた「原風景」は、この土地ですと作られてきたぶどうや、地元食材抜きで語ることはできない。そのため醸造所では、三原、竹原をはじめとする瀬戸内のさまざまなぶどう産地の名を冠したワインを醸造。ぶどうをワインへ加工し、併設されたレストランで地元食材を使った料理とのペアリングを楽しんでもらう。ワイナリーならではの「生産から消費までの持続可能なサイクル」を生み出した。ワインを通じてこの土地の食の豊かさを表現していくことで、瀬戸内の第一次産業を未来へと継承させていく。

空間設計においては、風景を切り取りその美しさを際立たせる工夫が随所になされている。座る角度によつて見える情景の異なるベンチや、瀬戸内の島々を回遊するかのよう設計された庭園を巡ることで、その場所がかつて造船所であった歴史や物語、提供される食材が目前に広がる海からの恵みであることを感じ取ることができる。訪れた各々が、自由にこの空間への関わり方を選ぶのだ。

「感じ方はそれぞれいいんです。豊かな自然を五感で感じて、自分と向き合う時間を過ごしてもらえたら」

物事の価値が均一化されていくこの時代に、瀬戸内醸造所が紡いでいく物語に想いを馳せて。ゆっくりと流れる時間を、ワインと共に楽しんでいただきたい。



「瀬戸内を切り取る窓」を通して、どの席からでも瀬戸内の風景を臨むことができる。



瀬戸内醸造所
住所：広島県三原市須波西1-5-26
TEL：050-3749-9902
定休日：火曜 / 毎月第3水曜
駐車場：16台

規格外等の理由で一般に流通しない食材も余すことなく活かした、「この土地でしか味わえない」サステナブルなコース料理を提供するレストランmio。季節ごとに変わるメニューを味わうことができる。



1 戦後の建築物初の国指定重要文化財 耐震改修＋リニューアルで魅力アップ

ここに紹介する2棟は原爆被爆後の復興期に建設され、2006年(H18)に戦後の建築物として初めて2棟同時に国の重要文化財に指定されました。その後、2019年(R1)に相次いで耐震改修等の工事を完了したものです。

世界平和記念聖堂

世界平和を希求し原爆犠牲者を慰霊する聖堂をこの地に建設する必要性を訴えたドイツ人神父のフーゴ・ラッサール氏が欧米など世界各地に広島の被爆の実情を報告し、義援金を集めて1954年(S29)に竣工。設計者は村野東吾で、RC造地上3階地下1階建て、三廊式バシリカの教会堂。老朽化に伴い耐震補強と保存改修工事を実施し2019年(R1)秋に竣工、建設当初の魅力ある姿が蘇りました。



広島平和記念資料館本館

広島平和記念資料館本館は、平和を象徴する公園として建設された平和記念公園のメイン施設として1955年(S30)に竣工・開館。設計者は丹下健三で、RC造2階建て、1階をピロティ形式とした様式はル・コルビジエの思想を強く反映し、同公園のゲートとしても機能しています。2019年(R1)秋に免震改修工事を終えるとともに、被爆の実相が理解しやすい展示構成へと大幅にリニューアルし、安全性の向上と内容の充実を実現しました。



2 様々な形で利活用される被爆建物

被爆から76年が経過し、広島市内に点在する被爆建物は老朽化により存続が問題となるものも少なくありません。そのような状況下で近年何らかの建築行為がなされた3つの被爆建物の利活用事例を紹介します。

平和記念公園レストハウス

増田清が設計し1929年(S4)に大正屋呉服店として建設されたRC造地上3階地下1階建ての建物。原爆で一部損壊した建物を補修して使用を継続し、1957年(S32)に広島市が買収してからは戦災復興事務所や市観光協会の事務所等として利用。老朽化による全面改築計画がユネスコ等の反対で凍結。その後、市の被爆70周年(2015年)記念事業として耐震補強と建設当初の外観・内装への復元実施が決定され、その工事を経て2020年(R2)7月にリニューアルオープン。被爆当時の姿を留めた地下室や平和の尊さを伝える展示室等をご覧いただける外、観光案内や休憩スペースも確保しています。



旧日本銀行広島支店

長野宇平治が設計し1936年(S11)に建設されたSRC造地上3階地下1階建ての建物。堅牢な造りのため原爆の爆風に耐え、現存する被爆建物の中でも抜群に保存状態が良いとのこと。日本銀行広島支店が1992年(H4)に市内他所に移転した後、広島市が広島平和記念都市建設法の適用による無償譲渡を要望した結果、市の重要文化財指定で無償貸与、国の重要文化財指定で無償譲渡の確約を得ました。これを踏まえ、2000年(H12)に市の重要文化財指定を受け日銀から無償貸与。以後広島市が市民用ギャラリーとして暫定使用しながら、国の重要文化財指定を目指して耐震補強や竣工当時の姿への復元工事を少しずつ進めています。



広島特有の文化遺産と言えば、世界遺産「原爆ドーム」「厳島神社」の二つが代表的存在ですが、その他にも魅力あるものが沢山あります。その中で広島市中心部の文化遺産を取り上げるとともに、併せて広島個性的な憩いの場所も紹介します。アフターコロナに訪れたい候補地として参考にしていただけると幸いです。

3 原爆ドーム・平和記念公園を見渡す 天空の憩いの空間

原爆ドーム背後でドームに敬意を払いつつ驚くほどに変貌した既存業務ビルの事例を紹介します。

おりづるタワー

原爆ドームの東に隣接する当建物(写真右側のビル)は、元は1978年(S53)に建設された広島東京海上ビル(S造地上13階地下2階建て)。2010年(H22)に広島マツダが買収した後、三分一博志氏設計で、耐震補強を伴う大規模改修により骨組みだけ残した大幅な改造工事を実施し、2016年(H28)9月に以前とは全く違うイメージのビルへと変貌。12～13階の展望スペースは川風の吹き抜ける気持ち良い空間で、丘状の床に腰掛けて原爆ドームや平和記念公園などを見渡すことができます。他にも折り鶴広場、1階から屋上まで続くスパイラルスロープや滑り台などの仕掛け、カフェ・物産館(1階)などもあり、憩える楽しい空間です。



広島アンデルセン本店

パン等の食品販売で全国展開するアンデルセングループの本店建物。元は1925年(T14)に三井銀行広島支店として建設された長野宇平治設計のRC造2階建て。1967年(S42)にタカキベーカリーが買い取り広島アンデルセンとして開店。後に新館増築等を行いつつ利用してきたものの老朽化により全面建替えの方向を選択、旧建物外壁の一部を切り取り建物2階部分に保存、また、竣工当時建物正面にあった列柱の復元等により建替えられ、2020年(R2)8月にリニューアルオープン。新店舗は、RC造5階建てで、食料品販売のほか、レストランやパーティ会場も備えており、気軽にご利用いただけます。



4 広島発祥「水辺のオープンカフェ」 水の都ひろしまにふさわしい憩いの空間

水辺を使いやすく憩える空間とするため、広島市は国・県や民間事業者と協力して常設による水辺のオープンカフェの仕組みづくりに取り組み、2011年(H23)の全国的な制度化に至るその先駆けとなりました。その活動を継続し、現在も営業を続ける水辺のオープンカフェを紹介します。

元安川オープンカフェ

平和記念公園レストハウス対岸のこの場所で1999年(H11)に官民連携してテイクアウト方式の仮設型店舗を置き、春～秋の季節営業で実験を開始したのが水辺のオープンカフェの始まり。その後、京橋川での成功を受け、この場所に独立店舗を設置すべく事業者を募集・選定し、2008年(H20)に開業したのが現在も営業を続けるカフェ・ボンテ。イタリア料理のお店で、イタリアンな牡蠣料理など広島の食材を生かした料理も提供。川風に吹かれながらオープンデッキで食事するのは気持ち良く、外国人にも人気のスポットです。すぐ側には、世界遺産航路の棧橋があり、最短45分で宮島に行くこともできます。



元安川オープンカフェ



京橋川オープンカフェ

京橋川オープンカフェ

京橋川では、2000年(H12)に川沿いのホテル2件で隣接する河岸緑地を一体的に利用したオープンカフェの運営を始めたのが最初。2004年(H16)に国から河川法の特例措置の適用を受けた社会実験に移行し、下流の河岸緑地において公募で選定した民間事業者に独立店舗3棟(写真)の建設・運営を認めるなど、その数は徐々に増加。本格実施後の現在では8店舗が運営。一般的なカフェのほか、牡蠣料理店やそば屋、タイ料理店、ケーキ屋など様々な飲食を楽しむことができます。水と緑に囲まれた憩いの空間で気持ちの良いひとときをお過ごしください。

文人墨客映画人に愛された尾道の老舗旅館に泊まろう

尾道は、「坂の街」「文学の街」「映画の街」として全国的に有名です。林芙美子や志賀直哉などの文学作品や、尾道出身の大林宣彦監督などによる数々の映画作品に尾道が登場します。こうした文学や映画の舞台となった尾道の老舗旅館3軒をご紹介します。



1 尾道の老舗旅館 その1

竹村家

竹村家は明治35年にアサヒビアホールの看板を掲げた洋食屋として尾道水道に面した防地川河口に創業。当時の様子は志賀直哉の小説「暗夜行路」にも登場。大正9年に建替え、その際に木造二階建て数寄屋造りの料理旅館として再出発し現在に至る。2階にある舞台付の大広間は、折上げ格天井、東南2面開口で、尾道水道を一望できる。客室は網代の舟底天井や竹組の格天井、竹で作った床柱や落し掛けなど竹村家の名前にある「竹」をふんだんに使用し、数寄屋大工の匠の技が見て取れる。平成16年に登録有形文化財に指定。尾道は文学の町としても有名で、先々代の女将さんは林芙美子と尾道高等女学校(現県立尾道東高校)時代の同級生であった。

戦後は小津安二郎監督の「東京物語」のロケ地に使われ、ロケの間、監督と俳優陣が竹村家に宿泊。昭和初期の小津ワールドの世界がここにはそのまま残っている。平成20年には新藤兼人監督の映画「花は散れども」のロケに使われ再び竹村家が銀幕に登場した。



2 尾道の老舗旅館 その2

魚信

尾道水道に面して建つ割烹旅館「魚信」は、建物が100年以上経っている数寄屋造りの老舗旅館で、昭和25年頃増改築工事を行いこの時3階建てに増築された。内装は細かい細工の施された数寄屋造りで、天井、床柱、内窓など部屋毎に趣向を凝らした意匠で当時の数寄屋大工の意気込みが感じ取れる。尾道には大正から昭和初期にかけて商家の別荘等として建てられた数寄屋建築がたくさん残っている。現役で使われている魚信は一見の価値がある。大林監督の映画のロケにもたびたび使われ、TVの取材も何度もされている。現在では数寄屋造りの建物を目当てに来られる観光客も多い。



3 尾道の老舗旅館 その3

西山本館

西山本館は昭和5年創業で、旧出雲街道の起点近くに建つ老舗旅館。建物はもと商家の屋敷で、明治5年に建築、大正11年に増築された。その後増改築が繰り返され、真壁造りの木造2階建とモルタル仕上げの外壁木造3階建の棟が入口の門構え奥の中庭を囲むように複雑に組み合わせられ、すべての客室が庭に面するように工夫されている。玄関を入ると、大林監督の映画「ふたり」の撮影にも使用された吹抜けや電話室があり、3階には宴会もできる大広間がある。丁寧な仕上げの数寄屋風和室の他、造船所での船の修理で滞在する外国人船員の宿泊にも対応できる洋室を持つなど、港町の風情を醸す木造旅館。平成27年に登録有形文化財に指定。



福山城 令和の大普請 ～2022年 築城400年に向けて～

福山支部は、福山市、府中市、神石高原町の建築士が所属しています。最近「輛の浦」が全国的に注目されていますが、ここでは2022年に築城400年を迎える「福山城」を紹介します。

1 築城400年に向けて福山城の整備が始まっています

2022年8月28日の福山城築城400年まで1年を切りました。福山市では、多くのイベントなどを通して福山城の魅力を発信するとともに、2020年からは天守や櫓の耐震改修、外観復元など再建後初となる大規模ハード整備を行っているところです。現在の福山城天守は市制50周年を記念して鉄筋コンクリート造で復興されたものです。この度の工事は、天守の北側壁面に鉄板張りを施し往時の姿に戻すと共に、内部の博物館についてもリニューアルする予定としており、皆さんに親しんで頂ける施設にしていきたいと思っています。この工事には、皆さんからの寄附金を事業費の一部として活用させて頂いています。多くの方からご寄付を頂いており、福山城が福山市の象徴として皆さんに愛されている建物だと改めて感じました。ご寄附を頂いた皆さん、ありがとうございます。

2 城泊のころみ

また、福山城には、天守の他にも国の重要文化財である伏見櫓や市の重要文化財である鐘櫓など魅力的な建築物が多数あります。今年度は、国の支援を受けながら、月見櫓を中心として福山城内の建築物や空間を一体的に活用し、体験や宿泊が出来る「城泊」の具体的な企画を行っていくこととしており、見るだけでなく体験しながら楽しんで貰える福山城に生まれ変わろうとしています。

3 福山支部の活動

一方、福山支部のまちづくり部会では、築城400年に向けて2015年から講演会を開催しており、これまでに5回実施してきましたが、昨年度はコロナ禍の影響を受け開催する事が出来ませんでした。Webなど新しい手法も検討に入れながら、今年度は感染症対策を講じる中で講演会を開催し、皆さんと一緒に築城400年を盛り上げていきたいと思います。福山市にお越しの際には、福山城の生まれ変わっていく様子や、大普請後の姿を是非ご覧ください。



■ 譜代大名・福山藩と福山城

今をさかのぼる1619年(元和5年)、徳川家康の従兄弟である水野勝成が西日本の有力外様大名への幕府方の楔として、備後7郡と備中一部の10万石を与えられ、福山藩が成立しました。勝成は、現在の場所に、福山城と城下町を建設し、この町を福山と名づけたとのこと。伏見櫓は築城の際に、京都伏見城の「松の丸東やぐら」であった遺構を徳川秀忠が移築させたものです。1871年(明治4年)の廃藩置県まで、歴代藩主は、水野家5代、松平家1代、阿部家10代と続き、福山城は藩の政治の中心でした。

■ 明治以降の福山城

1873年(明治6年)に廃城となり、城内の多くの建物が取り壊されました。1891年(明治24年)には旧城内を鉄道が走る事にもなり、現在、新幹線ホームからお城が最も近く見えるのは福山駅が一番ではないでしょうか。1945年(昭和20年)8月の福山大空襲では、国宝に指定されていた天守と御湯殿も焼失。赤く燃え上がる天守を見て魂が抜けたようだったというお話を聞いたことがあります。



福山駅(新幹線ホーム)から



筋鉄御門(国 重要文化財)



鐘櫓(市 重要文化財)



旧内藤家長屋門(市 重要文化財)

お城の一部が
新幹線福山駅の中に!?
見つけれなかったら、
福山支部に連絡してね!

東広島支部

日本有数の酒どころ西条と安芸の小京都竹原を楽しもう

兼原 浩樹

県北支部

歴史ある様々な文化と豊かな自然の彩り

山田 真司

1 東広島支部はどんなところ

竹原市は、広島県内で最初に伝統的建造物群保存地区に選定された竹原地区があり、安芸の小京都とも呼ばれ、古い町並みが残る風情あるまちです。東広島市は、広島大学など市内に3大学が立地する学園都市としての歩みを進めており、兵庫県の灘、京都府の伏見と並び3大酒どころと評され、人口も年々増加し、活気あるまちです。大崎上島町は、竹原沖の芸予諸島に位置し、造船業が盛んで、ミカン、レモンの栽培にも力を注ぎ、多様なマリレジャーが楽しめる島々から成る温暖なまちです。

2 酒どころ西条

東広島市の西条町は、この酒どころの中心地で、町内には多数の蔵元が集積し、歩いて酒蔵を周遊できることから、観光での来訪者が増加しています。特に、10月に開催される「西条酒まつり」では、全国の酒蔵から1000銘柄を超えるお酒を集め、飲み尽くす「乾杯ひろば」は、好評を博しています。

西条町が酒どころとして発展した要因の一つとして、豊富で良質な地下の伏流水の存在が挙げられています。周囲を山に囲まれる西条盆地内にあり、市街地北方に聳える龍王山に源を発する伏流水が、町の中心部にある酒蔵通りまで、地下の岩盤の下をゆっくり時間(約10～15年)をかけて流れ着き、鉄分が少なく、ミネラル分を含んだ良質な水となっています。良質な伏流水は、町内にある蔵元で仕込み水として利用され、美味しい西条酒の源になってきました。近年、各蔵元の酒蔵が、伏流水を汲みだす井戸の周辺に給水設備を整え、一般に開放したことで、市民の日常生活においても、大変身近な存在となっており、炊飯用やコーヒーなどの飲料用にと伏流水を持ち帰り、楽しめる方も多く、生活に彩を加える、西条の宝の一つとなっています。一方で、最近伏流水の水脈周辺で杭施工を伴う工事が増え、伏流水への影響を危惧する声が高まっています。建築物の建設計画を進める建築士として、それぞれの地域で大切にされている宝を守り、発展と両立させることの重要性を改めて感じているところです。

3 安芸の小京都竹原

竹原市の町並み保存地区は、江戸期に始まった塩田による製塩業を基盤として酒造業や廻船業などの多角経営に成功した商人達が昭和初期までに築いた大規模な屋敷の集積する地域です。「文教の地」としても知られ、頼山陽をはじめとする多くの町人学者を排出しています。工夫を凝らした竹原格子など、江戸時代の特徴を色濃く残した魅力ある景観を形成しており、映画やアニメ、テレビドラマなど数多くのロケ地としても活用されています。

全国の建築士の皆様!! 広島にお越しの際は、風情ある安芸の小京都竹原のまち並み、20世紀遺産20選に選定された西条酒蔵群での、お酒だけでなく、お酒の仕込水の飲み比べなども楽しませてみてはいかがでしょうか!



竹原 (町並み保存地区)



西条の酒蔵 (白牡丹酒造)



万年亀井戸 (亀齢酒造)



江戸天保井水 (西条鶴酒造)



黒松の井戸 (山陽鶴酒造)



次郎丸井戸 (賀茂泉酒造)



美人の井戸 (福美人酒造)



冥加の水 (白牡丹酒造)

1 歴史と自然の宝庫

庄原市

広島県最大の面積を誇る庄原市は、歴史と自然の宝庫です。国営備北丘陵公園では、季節ごとの花や遊びで満喫でき、一年を通じて楽しめます。また、国定公園の帝釈峡では、3億年のときが創った雄大な自然を堪能できます。庄原市東城町にある「ヤマモトロックマシン」施設群には、昭和初期に建設された木造の建築群が現存しており、当時の木造建築の粋を感じることができます。

2 交通や文化の交流拠点として栄える街

三次市

広島県の北東部にある三次市は、山陰と山陽を結ぶ結節都市として、交通や文化の交流拠点として栄えてきました。中でも、古墳は広島県内の3分の1にあたる4,000基余りがこの地域にあり、中国地方有数の古墳密集地です。また、地元が生んだ日本画と人形作家の夫婦の名を冠した「奥田元宋・小由女美術館」があり、周辺の三次ワイナリーや、みよし運動公園、農業連携拠点施設「トレッタみよし」と一緒に楽しむことができます。少し足を延ばせば、日本で唯一の妖怪博物館「もののけミュージアム」もあります。

3 神楽の盛んな毛利元就の本拠地

安芸高田市

全国的にも神楽(かぐら)が盛んな地として有名です。古から伝わる伝統の舞はもちろん、華麗な演出と圧倒的な演劇性、そして見る者を魅了するスピードが見ごたえあります。安芸高田市にある「神楽門前湯治村」では、昔懐かしい温泉街を再現。露天風呂と、神楽専用ドーム施設の「神楽ドーム」で体の芯から神楽を堪能できます。また、戦国大名の毛利元就の本拠地として知られ、その居城でもある郡山城(こおりやまじょう)があった地です。郡山城は、国史跡や日本百名城にも数えられる、中国地方最大の山城です。



帝釈峡



ヤマモトロックマシン



奥田元宋・小由女美術館



トレッタみよし



もののけミュージアム



神楽



神楽門前湯治村

呉地区支部 呉YWCAについて

濱井 義樹

呉地区支部は、旧軍港である呉湾の両岸に位置する呉市と江田島市の建築士が所属しています。旧海軍呉鎮守府として明治前期より飛躍的な発展を遂げたこの地域では、工廠を始めとする旧海軍の関連施設が数多く建設されました。戦争末期の空襲により、軍港や工廠の大半は呉市街地とともに破壊され焼失しましたが、残存する旧海軍施設は戦後復興の要となり、現在も多くの施設が近代化遺産として活用されています。呉YWCAは、こうした旧海軍関連の施設の中でも数少ない木造建築物の一つであり、ほぼ当時の姿のまま、今も現役で使われています。

呉YWCA

呉YWCAは、旧海軍第2門の進入路である市道に面し、市道と交差するJR呉線と小河川に囲まれた三角地の中にある。呉市に残る旧海軍関係施設のうち、戦災を免れた数少ない木造建築の一つであり、今も現役で使われている。

線路をくぐる市道側と河川側はやや高さのある石積擁壁が築かれ、特に河川側は石張りの河床から河川護岸を兼ねて城の石垣のような姿で立ち上がっており、鋭角的な建物とともに特徴的な外観を構成する大きな要素となっている。

この河川は、最下流に至るまで旧海軍用地を囲む堀のように直線的に整えられており、三角地もその堀の内側を通過する高架の線路と同一地盤上にある。おそらくここは1935年(昭和10年)に開通した広から呉までの鉄道延伸の際、既設の呉駅をめがけて緩いカーブを描いたために生じた旧海軍用地の残地を、高架の線路の橋台として利用した名残なのだろう。

1942年(昭和17年)の地図に記載があり、1946年(昭和21年)の呉地方復員局資料では海軍施設部衣糧庫とされているが、もともと旧海軍の士官クラブである水交社の施設であったとも言われており、建築時期だけでなく、本来の建物用途についても詳細は不明である。

木造総2階で延床面積約560㎡の建物は、石積上に基礎を築いて

三角地を最大限に利用しており、平面的にはチェックマーク(✓)のようなV字の形状となっている。屋根は瓦葺きから亜鉛メッキ銅板瓦棒葺きに替わっているが、下見板張と一部漆喰の外壁はほぼ建設当初のままである。

外壁の2階床のあたりには、やや大きめの鳥の巣箱のような箱が並んでいる。この箱は、2階を支える梁が壁の外まで突き出ているために、その先端を風雨から守る覆いとなっている。梁自体は、資材の不足あるいは節約のためか、小さな部材を組み合わせた合成梁となっており、これもまた細めの柱の上に載せられている。こうした簡素な外装や部材の節約とも思われる構造部材など、旧海軍関係の施設でありながら、華美な面や構造的な頑強さはほとんど持ち合わせていない。

戦後もなく英連邦占領軍施設として使用され、建物内部はその際に大幅な改修が行われている。この改修時の図面として簡単な平面図の一部が残っているが、残念ながら改修前や建設当初の資料はまったく見つからない。

平面図には、尺・間の基準で建築されたものをメートル基準に変えたような寸法の記入があり、これが現況寸法にほぼ近いことから、間取り自体が大幅に変更されていることがわかる。

正面入口から建物内部に入ると、踊場から左右に別れて登る両返

し階段があり、V字の突角部にあたる踊場には大きな縦長の窓が設けられている。内観の最大の特徴である階段と、外観を大きく印象づける窓は、改修の平面図にメートル基準での寸法が記入されていることから、おそらく改修時に設けられたものと思われる。

占領軍からの使用許可を得て、この建物を拠点として1948年(昭和23年)4月に発足した民間団体「呉YWCA」は、その後1951年(昭和26年)にこの建物を、1953年(昭和28年)に土地を購入しており、現在ここは、一般財団法人となった呉YWCAが主催する各種教室や、貸室等として利用されている。

竣工から少なくとも約80年を経ているが、主に資金面での理由から、これまで大規模な修繕等は行われていない。当然ながら構造部材や内外装、設備の老朽化は著しく、施設の利用を継続していくためには、早期に構造的な補強を始めとする全面的な補修・改修が必要な状況となっている。これまで呉高専や東京大学、建築士会などの協力も得て現地調査を実施し、改修の検討を進めてきたものの、やはり資金の調達は難しい。

おそらく倉庫として建設されたものであり、お世辞にも名建築とは言いがたい。また風景としては慣れ親しまれていながらも、小高い丘の上にポツンと存在する古びた建物に対し、何となく近寄りがたい雰囲気を感じる人も少なくないだろう。

しかし歴史的遺産としての価値はすでに十分備えているはずであり、呉市の由緒あるランドマークであることも間違いない。さらには戦後の女性の社会活動を象徴する施設でもある。外観をできるだけ維持したままで、施設としての機能を損なうことなく活用していくことは、関係者だけでなく、この建物に何らかの愛着を持つ多くの人たちもきっと望んでいるに違いない。

そうした中、2016年6月に「なかなか遺産第3号」として認定され、マスコミ等の報道が相次いだことにより、地元以外への認知度も若干ながら向上している。

ただし現状において施設改修に時間の猶予はなく、呉YWCAとしては、ひとまず、確保可能な資金の中で、最小限の補強を含む改修に着手することとなった。また、その流れを確実なものにしていくため、「歴史ある木造建築を未来に残したい!」とするクラウドファンディング(2021年4月末に終了)による資金調達も開始した。

現在は、クラウドファンディングの第2弾を計画中とのことであり、将来的には登録有形文化財に、という目標もある。

ともかく、さらに認知度を向上させ、もっと広く関心を持ってもらうということが当面の大きな課題かと思う。

※「なかなか遺産」とは、どこにもない特異性をもち、国の重要文化財や世界遺産に認定はされないものの、なかなか、と見るひとびとを唸らせ、次世代に継承させたいと思える遺産のこと。



第30回全国女性建築士連絡協議会 福岡大会が開催されました

女性委員会

1 令和3年度第30回全国女性建築士連絡協議会(福岡)webにて参加して

女性委員長 長岡 みゆき

9月25日(土曜日)、1年の延期を経てwebにて開催された全建女は広島県からは5名参加しました。初めてのweb開催ということで福岡県建築士会の皆様、連合会の皆様には大変なご苦労とエネルギーが必要だったと思います。感謝です。基調講演は有限会社杉岡製材所 杉岡 世邦氏による「建築空間を支える木の文化 木挽棟梁のモノサシ」と題してです。2017年の北部九州豪雨災害の時自社の山林が被害にあいながらも木の良さを伝えるための活動をされています。自宅はパワースポット、自発的治癒力、木の家は良い、人は住まいをつくり住まいは人をつくる。今回のメインテーマ「未来へつなぐ住環境づくり」は建築士として木材等の自然素材を生かした建築空間を改めて見直し日本の木の文化を次世代に繋げていくことの大切さを学びました。通常なら2日間の内容を1日に凝縮しての開催だったのでパソコンの前で忍耐が必要でしたがとても充実した大会でした。

今回は初のweb開催でしたが参加者は通常の4割増しの400名超の参加でした。全国で活躍されている女性建築士、地道に実績を積んでいる女性建築士が大勢いることをもっと知りたいと思います。webなら気軽に参加できますので来年の全建女はふるってご参加ください。建築士以外の方の参加も可能ですので学生さんや周りの方にもお声掛けください。尚、今回の大会は後日連合会のHPにて公開されます。参加できなかった方は是非ご視聴ください。



2 第1分科会報告 「心地よい和の空間」

県北支部 倉田 まゆみ

佐賀建築士会:田中さんより、有田焼を扱う商人の町家が立ち並ぶ通りにおいて、伝統的建築物を毎年数件修復工事を行いながら街並みを守っている地区の紹介でした。黒漆喰や銅製手摺など復元後の建物の方がとても魅力的でした。

有田独特の和の特徴として様々な鬼瓦や襖の引手、登り窯の耐火煉瓦によるトンバイ塀、陶磁器の鳥居等は現地でぜひ見てみたいと引き込まれます。また、ワークショップとして模型づくりの開催やNPO法人と連携して街並み全体にかかわる企画を行われていました。ご自

身がデザインされた町家イラストは著作権無料でグッズ化され、建築士会だけではなく周りを巻き込みながら伝統的保存を考えていくことは大事と再考しました。

大阪府建築士会:三宅さんはガイドブックを有効に活用され、近畿ブロック内の会議と合わせた見学会を行い会員外へも広めることが会員拡大につなげるツールともなっているそうです。

この貴重な【魅力ある和の空間ガイドブック(WEB版)】は現在も進行中の為、共有しながら知識を高め発信していけたらと思います。

3 第2分科会報告 「倅せもついてくる高性能なエコハウス」

広島支部 橋本 明美

環境共生住宅、健康住宅をテーマとしてきた分科会の流れをくむ分科会です。

コメンテーターの江藤真理子さん(福岡県建築士会)のソフトな語り口でネガワット、バウピオロジー、ZHE、HEAT20、C値といった専門用語の解説を交えながら近年の気候変動や黄砂の飛来などにより

外気の質が昔と違ってきているため外部環境から守られる家を考える必要があるというお話がありました。事例紹介では、日射を考慮した建物配置のシュミレーションや空調や換気設備と換気経路を工夫した説明があり、環境性と快適性の両立が未来へつなぐ居住環境づくりに繋がると伺いました。

4 第4分科会報告 「森林で自立する村づくりと熊本復興支援」

広島支部 神岡 千春

熊本建築士会 持田美沙子さん(現在は「すまいのとりのわ」主幹)の約9年にわたる活動を伺いました。熊大学院生時代に熊本県球磨郡五木村を知り、その後5年任期付きの五木村建設課・農林課職員として就職、地域産材を活用した「五木源(ごきげん)住宅」のブランディング、林業の普及による「森林で自立する村づくり」を目指し、さまざまな取り組みに挑戦・成果を挙げられています。

周りをうまく巻き込み、少しずつ活動の場を変えながらここまで辿り着かれたことは、持田さんのお人柄に寄るところも大きいと思いますが、五木村への愛、日本の暮らしへの愛と建築士としての広い視野と信念があるからだと感じました。また、司会の宮崎県建築士会 竹崎由美子さんの言葉にも一言一言うなずきながら拝聴しました。是非、HPでご覧ください。

コロナ禍での広島県の取組み

広島県土木建築局営繕課

広島県では、魅力ある建築物の創造に向けて、広島型建築プロポーザルなどの取組みを実施するとともに、この事業の認知度向上を目的に、イベント等による情報発信を行っております。

最近はコロナ禍であり、人を集めるイベントはできないため、代わりにオンラインやウェブを使った方法による情報発信を行ってきました(試行的にですが)。最近の取組事例を2件ご紹介します。

1 福山東警察署駅前交番新庁舎の設計者選定

令和3年7月に「福山東警察署駅前交番庁舎新築工事に伴う基本設計及び実施設計に係る公募型建築プロポーザル」の最終審査部会を開催し、株式会社メグロ建築研究所一級建築士事務所(東京都)を特定しました(次点者は一級建築士事務所山下貴成建築設計事務所(東京都))。評価テーマは、①親しみやすさと力強さを備えた機能的な施設づくり、②周辺環境と調和し警察らしさを感じさせる魅力ある施設づくり、でしたが、この他にも福山市の策定した駅前再生ビジョンとの兼ね合いや、敷地が道路に囲まれたアイランド状であることなどが、計画する上での重要なポイントでした。

交番庁舎という小規模の建物にも関わらず全国から83者もの応募があり、どの作品も知恵を絞った提案性の高いもので審査員を悩ませましたが、最終的には審査部会(部会長:乾久美子氏)から、「常夜灯というイメージは明快であり、駅前の空間を豊かなものする」と評され特定に至りました。

詳しくは広島県のHPで技術提案書や審査概要を公開していますので是非ご覧ください。

なお、このプロポーザルのプレゼンテーション・ヒアリングはZoomによるウェブ配信を行いました。

ウェブ配信のため遠方でも気軽に参加できる、プロポーザルの雰



特定者:メグロ建築研究所のパス

2 宮島口旅客ターミナルの建物解説動画の公開

宮島の玄関口である宮島口の旅客ターミナルが令和2年2月に完成し、竣工1周年を機に設計者の乾久美子さんによる建物解説&スペシャルインタビュー動画を撮影しました。もともとは、乾さんを招いてトークイベントを開催する予定でしたが、コロナ禍により断念し、代替として行ったものです。

こちらも広島県のHPで公開していますので、是非ご覧ください。



動画ツアー撮影風景

“ひろしまたてものがたり”は、
広島県の建築の魅力を発信しています。





ISO 9001 認証取得
ISO 14001

豊かな環境を創造する総合建設業

株式会社 **共立**

〒730-0051 広島市中区大手町4丁目6番16号
TEL.(082)246-4151 FAX.(082)243-1870
(営業所) 岩国



地震に強く、低コスト、そして環境にも優しい。地盤改良の新技术。

スクリープレス工法

- ◆大学との共同研究から生まれた画期的液状化対策！
- ◆材料は天然砕石を使用するため、撤去不要！
- ◆排土が無く、残土処分費用が不要！



スクリープレス工法協会

富山県氷見市上泉51 TEL:0766-30-2372 mail:spassoc.info@cons-hd.co.jp



広島建労へ
入ってきんさい

一人親方や事業主でも「労働保険」
現場で働く労働者の将来の安心「建退共」

【以下の傘下団体も協賛しています】
一般社団法人 広島建築共同職業訓練協会
一般社団法人 広島県建築センター協会



商標登録 第6019074号

魅力の建設国保・共済制度
組合員に元気と安心を届けます
建設業でのスキルアップにCCUS
CCUS登録認定窓口も設置しています

ホームページ [ひろしまけんろう](https://hiro-ken.com/) [検索](#)

広島県建設労働組合(広島建労)



<https://hiro-ken.com/>
広島市西区横川新町 8-12
TEL :082-232-6238
FAX:082-294-0248



公益社団法人 **日本しろあり対策協会**
The Japan Termite Control Association

会長 金城 一彦

〒160-0022 東京都新宿区新宿1丁目12-12 TEL.03-3354-9891 FAX.03-3354-8277
<https://www.hakutaikyo.or.jp/> E-mail.hakuto@hakutaikyo.or.jp



人と自然との調和

錦建設株式会社

代表取締役会長 迫谷 富三
代表取締役社長 迫谷 浩司



No.2757-ISO9001
No.E1816-ISO14001

本社/広島市中区国泰寺町二丁目5番4号
TEL.082-243-2611 FAX.082-243-0522 <http://www.str-nishiki.co.jp>



空間創造&環境クリエイター

わたしたちはお客様の多様なニーズに
技術力と創造力でお応えします。

北海道から沖縄まで全国をサポートいたします。

本社/〒734-0023 広島市南区東雲本町2-15-7 tel.082-282-1461
東京事務所/〒170-0013 東京都豊島区東池袋4-26-13 東栄ビル7階 tel.03-5911-2350
東広島工場/〒739-0265 東広島市志和町冠216-1 tel.082-433-2776
黒瀬工場/〒739-2612 東広島市黒瀬町丸山278-13 tel.0823-82-6456
関連会社/(株)岸工業九州・呉テント工業(株)・(株)SK工房

【URL】<https://www.kishikogyo.co.jp>



KISHI

岸工業株式会社

一般建設業 広島県知事許可(般-26)第17034号
一般建築士事務所 広島県知事登録 (1)第4675号、日本膜構造協会会員

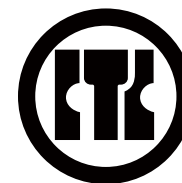


一般社団法人

広島県建築士事務所協会

会長 衣笠 准一	名誉会長理事 小西 郁吉	副会長 車田 聡
副会長 豊田 隆雄	副会長 高橋 啓之	副会長 恒川 真一
専務理事 河原 直己		

〒730-0013 広島市中区八丁堀5-23オガワビル2階 TEL.(082)221-0600 FAX.(082)221-8400 <https://h-aaa.jp>



一般社団法人

中国しろあり対策協会

会長 引田 真吾

〒730-0052 広島市中区千田町3丁目1-10 TEL.(082)546-0231 FAX.(082)243-0345
<http://www.shiroari-chugoku.jp/> E-mail.info@shiroari-chugoku.jp



安全で安心な住まいづくりをサポートします。



- ◆ 建築確認・検査
- ◆ 住宅性能評価
- ◆ フラット 35 適合証明
- ◆ 長期優良住宅技術審査
- ◆ 低炭素建築物技術審査
- ◆ 住宅かし担保責任保険
- ◆ 省エネ関連業務
- ◆ すまい給付金サポート
- ◆ リフォーム評価ナビ
- ◆ 地域型住宅グリーン化事業申請窓口
- ◆ ベターリビングリフォーム審査業務



指定確認検査機関・登録住宅性能評価機関

株式会社 広島建築住宅センター

URL: <http://www.hkjc.co.jp>

本社 〒730-0013 広島市中区八丁堀 15-10
TEL: (082) 228-2220 FAX: (082) 228-2231
営業所 〒720-0034 福山市若松町 8-22
TEL: (084) 928-3979 FAX: (084) 928-3974



新築住宅
環境 ECO 対策
店舗デザイン
マンション修繕工事
賃貸マンションプロデュース
内外装リフォーム
電気事業
公共他工事

新築工事から住宅リフォーム
マンション改修まで
お任せ下さい！

〒731-0135
広島市安佐南区長束 4 丁目 16-2
TEL: 082-238-1511 FAX: 082-238-1513

ディーエス・ハマト

株式会社

検索



指定確認検査機関（中国地方整備局長指定第 1 号） 登録住宅性能評価機関（中国地方整備局長登録第 5 号） 登録省エネ判定機関（中国地方整備局長登録第 3 号）

BELS 低炭素建築物 長期優良住宅 建築確認 住宅瑕疵保険 フラット 35 適合証明 住宅性能評価 省エネ適判

ハウスプラス中国は
迅速、的確な審査で、皆様の建物の
安全、安心をサポートします。



中国エリアをすっぽりカバーしています



ハウスプラス中国住宅保証株式会社

<http://www.jutakuhosho.com/>

広島支店・広島本店：広島市中区国泰寺町 1-3-32 国泰寺ビル

TEL：082-545-5607 FAX：082-545-5608

広島北支店：広島市安佐南区西原 6-9-40-7 TEL：082-832-3310 FAX：082-875-4330



「より早く・より親切に・より分かり易く」をモットーに
より確かなサービスを提供します

- 指定確認検査機関
- 登録建築物エネルギー消費性能判定機関
- 住宅瑕疵担保責任保険業務
- すまい給付金関連業務

- 指定構造計算適合性判定機関
- 適合証明業務（フラット 35）
- 調査診断業務（遵法性調査等）

- 登録住宅性能評価機関
- 長期優良住宅認定審査業務
- 建築物省エネルギー性能表示制度（BELS）評価業務



株式会社 ジェイ・イー・サポート

URL <https://www.jesupport.jp/>

本社 〒730-0013 広島市中区八丁堀15-8-6F

TEL：082-836-3300 FAX：082-228-8201

支店：東京 事務所：福岡

e-mail：mail@jesupport.jp

MEMO